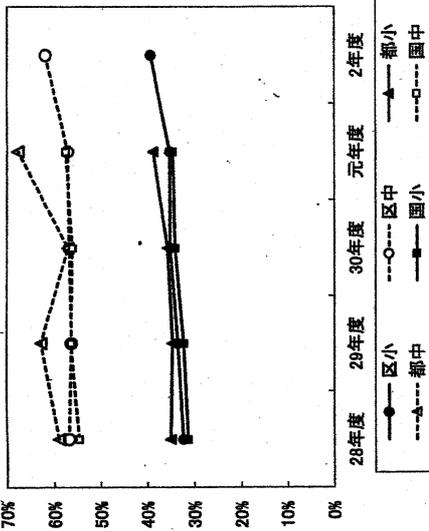


# 大切な目を守る話

近視の原因はまだはっきりわかっていませんが、タブレットやスマホの画面を見る時間が  
増え、視力低下がすすんでいる人の割合も増えているのは明らかです。目の緊張状態が続か  
ないよう、ときどき目を休ませましょう。

裸眼視力1.0未満の者



この表をみてください。これは、全国の小学生の健康診断の結果です。

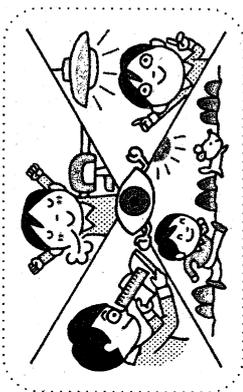
	1990年	2020年
視力1.0未満の人	約21%	約37.5%
未処置の虫歯がある人	約53%	約19.6%

30年くらい前には虫歯のある人のほうが断然多かったのに、今では視力1.0未満の人のほうが多くなっています。

視力1.0未満の人みんなが近視というわけはありませんが、視力低下の原因はやっぱり近視が多く、どんどん増えています。

「近視はメガネやコンタクトレンズを使えば見えるから、問題ない」と思っている人がいるかもしれませんが、でもちょっと心配なのは、将来目の病気、例えば白内障や緑内障になるリスクは、近視の人のほうが高いというデータが発表されていることです。

近視にならないための4つのポイント



近視の人が多いのはどうして?

地方の学校の子ども

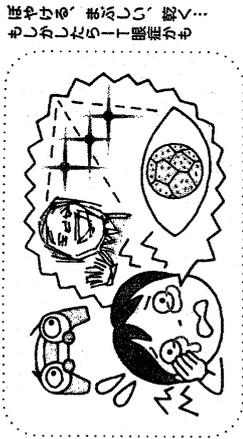
都会の学校の子ども

なぜ近視になるのかは、じつはよくわかっていません。目をよく使う人でも近視になる人もいます。

ただ地方の学校と都会の学校を比べると、近くをよく見る都会の学校のほうが、近視の子どもの多いという研究の結果があります。外あそびの時間の差なども理由にあげられますが、近くを見る時間が多くなることも、近視の増加に関係するのは、間違いないでしょう。

近視にならないために気をつけたいのは

- ① 正しい姿勢で、目と本などの距離は30cmくらい離しましょう
- ② 1時間くらい読書や勉強をしたら、10分くらい目を休めましょう
- ③ 部屋は明るすぎたり暗すぎたりしないようにしましょう
- ④ 1日に2時間くらいは外あそびで、太陽光をあびましょう



IT眼症ってなんのこと?

スマホやゲームのし過ぎで起こる目や体の不調

ゲームがうますぎる人の特別な目

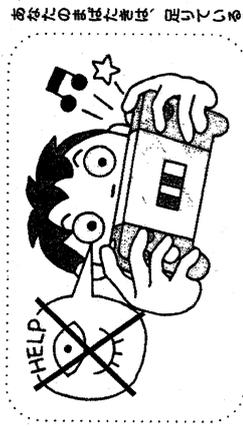
スマホやゲームのし過ぎで起こる目の病気や、それによって出てくる体の症状を、IT眼症と言います。

こんな目の症状があれば、IT眼症かも

- ・ピントが合いづらい、二重に見える、まぶしい、目が重い、目や目の周りが痛い、目がうるむ、目がちらつく、目が乾く

これらの症状は目の疲れからくるものです。目の症状の他にも、頭痛、肩こり、めまい、吐き気、イライラ、眠れないなどの体の症状が出ることもあります。

また新型コロナウイルスのために家でスマホやゲームをする時間が多くなり、近視が急に増えたと言う専門家もいます。目の疲れが近視に係るかどうかは、はっきりわかりませんが、関係あるかどうかは、はっきりわかりませんが、目を使っているだけでも最近視力が下がった人は、目を使いすぎていないか、振り返ってみましょう。



ゲームをしているとき

まばたきは増える

まばたきは減る

IT眼症の症状の中の「目が乾く」は「ドライアイ」と言われる症状です。ゲームやスマホの画面を一生懸命見ていると、まばたきの回数は減ってしまいます。普通なら1分間に15~20回くらいするまばたきを、ほとんどしないうえに減ります。このため、目に涙がいきわたらず、目の表面が乾いてしまうのです。

IT眼症を防ぐには

一番いいのは端末の画面を見ないこと。でも今は勉強でも端末を使う時代ですから、なかなか難しいですね。それなら、こんなことに気をつけましょう。

- ・画面を30cm以上離す
- ・20分に1回は20秒以上、目を離す
- ・遠くをぼんやり眺める時間を作る
- ・寝る1時間前には端末の使用をやめてリラックスする時間をつくる

大切な目を思いやりの時間をつくりましょう